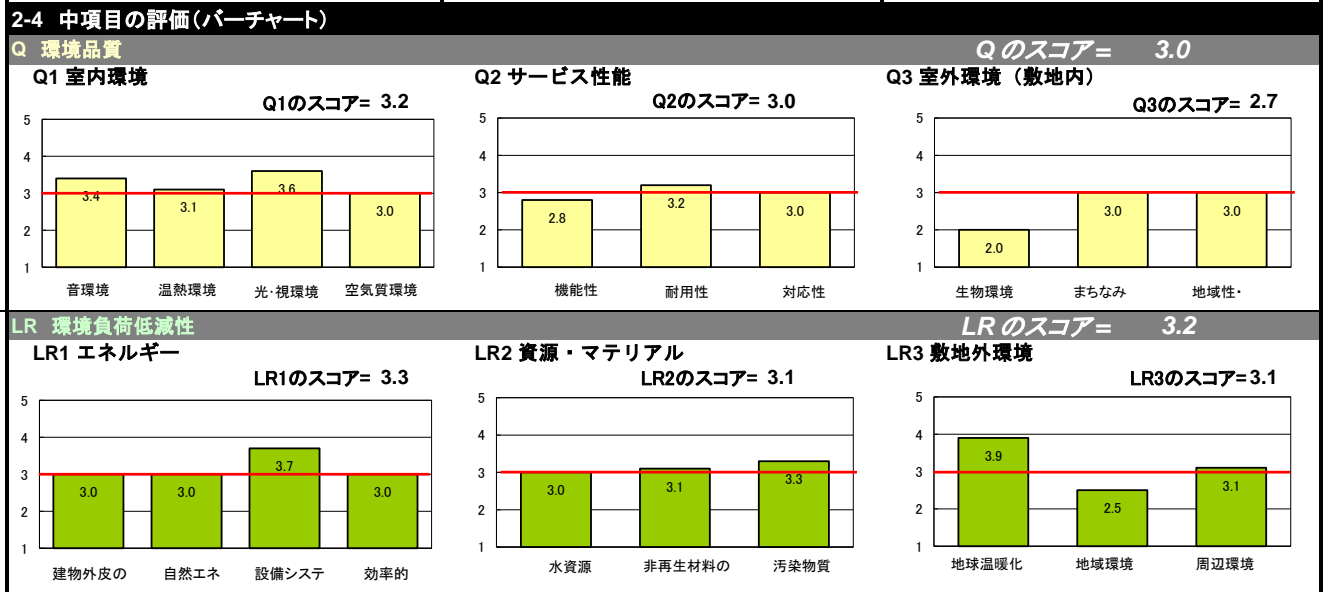
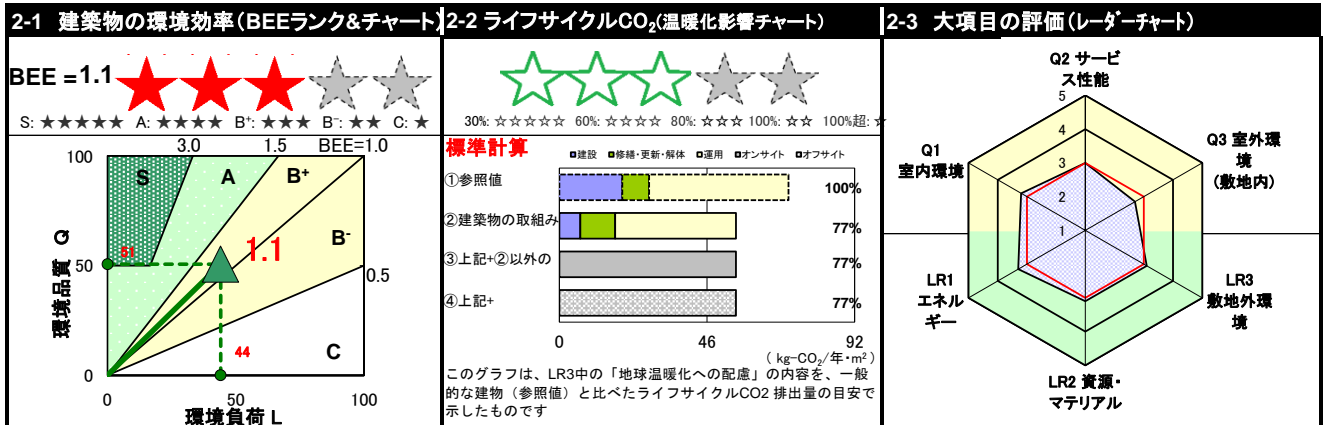




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KSPあざみ野 新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	神奈川県横浜市青葉区荏田町字宿裏314番1	構造	RC造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	96 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,800 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年5月7日
敷地面積	968 m ²	作成者	株式会社 エム・プランニング
建築面積	550 m ²	確認日	2025年5月7日
延床面積	2,385 m ²	確認者	株式会社 エム・プランニング



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
横浜市青葉区に建設される集合住宅である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音性能の高いサッシを採用している。	・耐用年数の長い内装仕上げ材を採用し、更新必要間隔に配慮している。	・敷地内に緑化を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・建物外皮の断熱性能に配慮している。	・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・屋外照明及び屋内照明の漏れ光について配慮している。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要		<集合住宅>		受付日 2025年5月19日	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				建物名称 (仮称)KSPあざみ野 新築工事	
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving		重点項目への取組(5点満点)		【省エネルギー性能】	3
■省エネルギー性能					
この建物の設計一次エネルギー消費量				17	%削減
				再エネなし	再エネあり
				削減率	17%
				削減率	17%
				BEI値	0.83
				BEI値	0.83
基準一次エネルギー(100%)					
■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)					
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community		重点項目への取組(5点満点)		【健康・安心】	3
■室内環境対策 (⑤外皮性能)					
◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。					
■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)					
■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)					
◆工夫の有無 なし					
防災への配慮 (R) Resilience		重点項目への取組(5点満点)		【防 災】	3
■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)					
⑰耐用年数の長い内装仕上げ材を採用している。					
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape		重点項目への取組(5点満点)		【地域・まちづくり】	3
■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)					
太陽光発電などの導入		環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)			
エネルギーマネジメントシステム導入					



CASBEE横浜2025年版v1.0

(仮称)KSPあぞみ野 新築工事

バージョン CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	3.0
Q1 室内環境				-	0.40	-	-	3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.5	1.00	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	0.50	-
1.2 遮音				-	-	4.0	0.50	-
1 開口部遮音性能				-	-	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				-	-	2.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	5.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	4.5	0.20	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御				3.0	1.00	3.3	0.50	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		-	-	3.0	0.63	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	1.00	4.0	0.38	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		-	-	3.0	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		-	-	3.0	0.30	-
3 光・視環境				2.7	0.25	3.8	1.00	3.6
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.0	0.40	-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境		-	-	5.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境		-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	1.00	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.40	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.15	3.0	0.20	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策				3.0	1.00	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気				-	-	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		-	-	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		-	-	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		-	-	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
機能性				2.4	0.40	3.0	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	3.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性		-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		1.0	1.00	3.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災	⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災	⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				4.1	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災	⑮信頼性		2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災	⑮信頼性		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50	-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	-

3.3	設備の更新性			3.0	1.00				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7		
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.3	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化				3.7	0.50	-	-	3.7
	集合住宅以外への評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.7	1.00	-	-	-
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外への評価				-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1	
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0	
	1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1	
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3	
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1	
1	地球温暖化への配慮			3.9	0.33	-	-	3.9	
2	地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5	
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	-	
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	
上記以外の重点項目					-	-	-	-	
<事務所用途>					-	-	-	-	
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	
<住宅用途>					-	-	-	-	
健康と安心					-	-	-	-	
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	3.0	-	-	-	